

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年 8月18 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3470204276		
法人名	有限会社 ネクストライ		
事業所名	グループホーム きらら		
所在地	〒730-0852 広島市中区猫屋町8-11 (電 話) 082-293-3116		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト		
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9		
訪問調査日	平成21年7月28日		

## 【情報提供票より】(21年7月12日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 8 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	7 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 4.7 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有( 150,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,200 円		

### (4) 利用者の概要( 7月 20 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	4 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79.2 歳	最低	60 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	林クリニック シムラ病院 さんえい診療所 広島厚生病院 原田内科神経内科クリニック 藤岡歯科診療所		
---------	---	--	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、3階建てアパートの1階部分で、市の中心部に位置し問屋、商社、メーカー、食事処が隣接し生活観を感じる町にあり、利用者が食事に出かけ地域の方と交流を図っている。また、運営者は、医薬事業を経営され、薬系ルートでの繋がりで多くの情報交換を行いホームのサービスの質の向上に活かしている。近隣に公園も沢山あり出かけるには好都合で散歩に出かけ近所の方と立ち話をしたり交流を図っている。理念で「その人らしくを大事に」「日々明るく楽しく」とあるように、ある人生の最後の場の出会いを大切に、家族と同じように利用者一人ひとりが笑顔で生き生きと心地良く過ごせるよう、職員は自然に接し、細やかな気付きと目と心を持って日々取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>同業者との交流を通じた向上 事業所の多機能性を活かした支援など、職員全員で検討を重ね改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者や職員は評価の意義や目的を十分理解している。自己評価は、全職員で話し合い、利用者へのサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、利用者や家族代表、地域包括支援センター職員、民生委員、事業所職員が参加している。会議では事業所の取り組み状況や利用者のホームでの生活状況の報告をし、参加者との意見交換などを行い、サービスの質の向上に活かしている。会議内容は、議事録を職員間で回覧するなどして関係者間で共有している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>ホーム玄関口に御意見箱を設置し苦情相談を受け付け担当職員が要望等には即時対応している。また家族からの意見は面会時に聞き、毎月、手紙でホームでの様子を連絡し、要望、苦情は全職員で共有し支援している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入して、年間を通じて諸行事に積極的に参加し地域に溶け込む努力をしている。近隣の公園に散歩に出かけ地域の方とお話をしたり、食事や買い物、神社への初詣や、フラワーフェスティバルを見に出かけたり、積極的に地域と連携している。</p>

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしくを大事に、日々明るく楽しく」を理念として掲げ、皆さんが良く見える事業所内の食堂に掲示し、いつも理念を念頭に入れ支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念や目標について職員会議で話し合い、目標については年1回見直し会議を行い、新たな目標「報告・連絡・相談・スタッフ同士の声かけ連携を強める・やさしく笑顔で話を傾聴する」を決定し事業所内に掲示し、日々支援している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し回覧板を持っていったり、職員が町内清掃に参加している。利用者は盆踊りや近くの神社に初詣に出かけ、近隣のスーパーやそば屋、カレー屋さんへ外食に出かけたり、また近隣のグループホームへ出かけ利用者同士交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は 評価の意義や目的を十分理解している。評価について全職員で話し合い利用者へのサービスの質の向上に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員・地域包括支援センター職員・家族・管理者・利用者・家族代表・職員などが参加する運営推進会議を2ヶ月に1回開催しています。ホームでの状況や活動報告を行い、参加者からの意見や要望や助言を聞き、サービス向上に活かせる有意義な話し合いとなっている。		運営推進会議に町内会長や自治会長や地域の住人に参加してもらい協力が得られるよう、会議の日程や時間帯等の取り組みに期待します。

グループホーム きらら

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の職員と運営上の課題について相談・連絡を取り確認している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時間は制限が無く、来訪時に意見を聞いたり、ホームでの暮らしぶりや、健康状態を伝えている。また文書や手紙で利用者のホームでの様子をお知らせしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関口に御意見箱を設置し苦情や相談を受け付け、要望等には全職員で改善策を話し合い即時対応、質の高いサービスに繋がるよう取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、働きやすい環境作りに努めている。離職者は少なく、職員と利用者が馴染みの関係作りがうまく出来ている。新任の職員は今までの職員のフォローを受けてケアを行い、馴染みやすく利用者へのダメージを防いでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体である薬局の関連施設や薬局ネットワークでの研修や、外部研修へも事業者から研修費を支給していただき参加している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームとの交流や 薬局のネットワーク施設との交流があり、お互いに意見交換しサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にホームの見学をしていただいている。また自宅訪問で本人、家族と話し合い本人がホームに馴染めるように、状態に合わせるように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事を一緒に作ったり、配膳、下膳、洗濯物をたたんだり、日中はほとんど食堂でソファーに腰掛け雑談をしながら過ごし、職員は利用者を「人生の先輩」として敬意共に生活する家族として支えている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の会話や行動の中で思いや希望を把握できるように努めている。それが困難な人の場合は、家族の話を参考にしたり、職員間で話し合い、本人が納得いくように意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の意向、要望をもとに、管理者と担当職員で課題、目標を設定し、介護計画を全職員で検討し作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は3ヶ月の期間に応じ見直しを行うと共に、本人の心身等の状態に変化が生じたときは、随時家族や職員、必要な関係者と話し合っ、現状に即するように見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体となる薬系グループとの繋がりで、他グループホームと連携をとりお互いに研修し、サービスの質の向上につながっている。通院等家族の状況や要望、希望には柔軟に対応しながら支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣のかかりつけ医と訪問看護事業所と提携をしており24時間体制で連携が取れている。また内科医と歯科医が週1回定期的な往診が行われている。本人家族の希望する医療機関への受診も柔軟に支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について考え、本人や家族の意向を聞いたり介護計画を作成する時にも話し合われ、状況に応じて出来る限りの対応をしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員会議の時に定期的にプライバシーの確保について確認している。日々の関わりの中でも職員同士お互いに言葉かけに注意を払っている。記録についても注意して保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者お一人お一人のペースを大切にしながら本人の希望にそうように自然に振舞い、自然に生活する事を支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者も野菜を刻んだり切ったりして調理に参加している。食事の際は、利用者は職員と共に和やかに同じメニューで食事をしている。片付けや食器拭きなどでも利用者の力を活かせるよう、出来る方には協力してもらっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回、本人の希望、要望に沿って支援している。また、体調などの状態に応じて随時入浴は対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者本人や家族から聞いた生活歴や趣味などの情報を基に、毎日の暮らしの中で一人ひとりの出きること探しをして、生きがいや喜びにつながる支援をしている。洗濯物をたたんだり食事のあと片付けを手伝っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くのスーパーへ買い物に出かけたり、お好み焼き屋、そば屋、カレー店、和食の店と外食に出かけたり、また年始には空鞆神社、護国神社へと初詣にでかけている。お花見の時期には、江波山へ皆さんで出かけ、フラワーフェスティバルにも出かけている。		
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関・居室共に鍵をかけていない。玄関の出入りは、センサーにて確認をし対応、夜間は鍵をかけている。帰宅願望のある利用者にも、職員で見守りを行い鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回定期的に消防署の協力を得て利用者も一緒に避難訓練を行っている。またホーム独自に、夜間を想定した避難訓練を行っている。		

グループホーム きらら

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分も食後や午前、午後に適量飲んでいただきそれぞれの摂取量を把握記録している。栄養バランスにも注意され、利用者に応じた食事が提供されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂、台所は家庭的な明るく適応な広さがあり利用者が移動できるようゆったりとした共有空間になっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の持ち込まれた写真・ぬいぐるみ等好みに配置されて、それぞれが使い勝手の良い空間になっている。		